

フィリピン／Philippines



Ramon Paul L. Hernando

フィリピン 最高裁判所 裁判官

【学歴】

法学士：サンペダ大学ロースクール

文学士：サント・トマス大学

【職歴】

I. 官公庁

2018年～現在 最高裁判所陪席裁判官

2010～2018年 控訴裁判所陪席裁判官

2004～2010年 地方裁判所（特別商業裁判所）裁判長

1998～2004年 法務省国家検事

1992～1998年 最高裁判所法廷弁護士

II. 学術界

商事法および民事法教授

-アテネオ・デ・マニラ大学ロースクール

-サンペダ大学ロースクール

-サント・トマス大学（UST）ロースクール

-ファーイースタン大学（FEU）ロースクール

フィリピン司法試験試験官（2009年、2011年、2016年）

【法律書著作】

- Philippine Laws on Transportation（フィリピン運輸法）（2016年版）

エルナンド判事は知的財産法分野での豊富な経験を踏まえて、フィリピンの司法組織を代表して出席。国内の複数のロースクールで知的財産法を長年教えており、同国の知的財産関連事件を管轄する特別商業裁判所の裁判官でもある。



Teodoro C. Pascua

フィリピン知的財産庁 副長官

【略歴】

テオドロ・C・パスクワ弁護士は現在、フィリピン知的財産庁エンフォースメント・渉外・政策担当副長官を務め、ドキュメンテーション・情報・技術移転局、IPアカデミーおよびIPエンフォースメント室を統括し、主に政策立案、国際渉外、二国間・多国間協定、自由貿易交渉を担当している。

2016年8月～2018年1月まで貿易産業省（DTI）消費者保護グループ担当次官、2010年8月～2016年7月まで技術教育技能開発庁（TESDA）技術教育技能開発運営担当副長官を務めた。

1981年には労働雇用省（DOLE）雇用サービス局でリーガルアシスタントとして勤務。City land Development Corporation（1987～1988年）を含む民間企業数社の顧問弁護士として勤務し、法務に携わった経験も持つ。ほかにもBito Misa Lozada法律事務所（1983～1987年）、Misa法律事務所（1988～1991年）、Pascua & Zuñiga法律事務所（1991～2003年）、Yulo Aliling Pascua & Zuñig法律事務所（2003～2010年）といったさまざまな法律事務所で弁護士としての経験を重ね、2010年に公職に就いた。

1978年にフィリピン大学（UP）マニラ校で文学士号を取得し、「Honor Society of Phi Kappa Phi（フィリピン優等生協会）」に選ばれる。1982年に同大学ロースクールで法学士を取得、1983年に司法試験に合格した。



アン・N・エディロン / Ann N. Edillon

フィリピン知的財産庁 特許局 副局長

【略歴】

特許を専門とする弁護士であるエディロン氏は、特許実務、特許訴訟、特許出願書類の作成、審決の言い渡し、政策立案において、8年以上の経験を有する。また、医師でもある同氏は、総合内科・家庭医療分野での12年の経験を持つほか、成果思考のメンター、指導者、教育者でもある。

現在は、特許局の副局長を務めており、特許に関する政策立案に貢献しているほか、AI関連の発明を含む特許の審査ガイドラインの改善を担当し、特許局の意匠部門と品質管理ユニットを統括している。また、フィリピン知的財産庁（IPOPHL）知財執行室（IEO）の責任者でもあり、模倣品・海賊版拡散防止に関連する政策の立案に携わっているほか、国際的な知的財産権執行フォーラムのフィリピン代表やIEOにおける模倣品や海賊版に関する行政事件解決の責任者も務めている。

同氏は、フィリピン大学ディリマン校法学部で法学位、ザ・イースト大学ラモン・マグサイサイ・メモリアル・メディカルセンターで医学学位を取得したほか、フィリピン大学で心理学の学士号を取得して優等で卒業した。